

GRANPOWER5000 モデル 580 取扱説明書

追記・訂正事項

このたびは、弊社の GRANPOWER5000 モデル 580 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバに添付の『GRANPOWER5000 モデル 580 取扱説明書』などのマニュアル類に記述の追記・訂正がございましたので、ここに謹んでおわび申し上げますとともに、下記のとおり追記または訂正させていただきます。

平成10年8月
富士通株式会社

GRANPOWER 5000 モデル 580 取扱説明書

1. BIOSセットアップユーティリティを使う（誤記訂正）

（関連ページ：「 Advanced Chipset Control マニュアル(67 ページ) 」）

（関連ページ：「 System Management マニュアル(76 ページ) 」）

「Base RAM Step」、 「Extended RAM Step」はEvery location で使用してください。

	訂正内容
誤	Base RAM Step / Extended RAM Step POST 時に行うベースメモリ / 拡張メモリチェックのステップ幅を設定します。 - 1 MB 1 MB 単位に行います。 - 1KB(工場出荷設定値) 1 KB 単位に行います。 - Every location すべてのロケーションで行います。
正	Base RAM Step / Extended RAM Step POST 時に行うベースメモリ / 拡張メモリチェックのステップ幅を設定します。 - 1 MB 1 MB 単位に行います。 - 1 KB 1 KB 単位に行います。 - Every location (工場出荷設定値) すべてのロケーションで行います。

「Assert NMI on PEER」はDisable で使用してください。

	訂正内容
誤	Assert NMI on PEER (変更禁止) PEER(PCI バス上のバリティエラー)発生時に NMI を生成するかどうかを設定します。生成するためには、PEER を Enable にする必要があります。 - Disable 生成しません。 - Enable(工場出荷設定値) 生成します。
正	Assert NMI on PEER (変更禁止) PEER(PCI バス上のバリティエラー)発生時に NMI を生成するかどうかを設定します。生成するためには、PEER を Enable にする必要があります。 - Disable(工場出荷設定値) 生成しません。 - Enable 生成します。

2. SSU実行時の環境設定（誤記訂正）

（関連ページ：「 ユーザモードの設定(100 ページ) 」）

SSUを使用する場合のユーザモードはExpert(初期値)のみ使用可能です。変更しないでください。

3. システム資源の管理（誤記訂正）

（関連ページ：「4.6.5 システム資源の管理(101 ページ) 」）

SSUを使用してのシステム資源のバックアップファイル作成 / 復元はできません。

バックアップファイルの作成 / 復元を行う場合は、サーバ本体添付の「GRANPOWER5000 モデル 580/680/780 Bios Environment Support Tools V1.0」をお使いください。

4. システム資源の管理（追記）

（関連ページ：「 ISA カードの追加(101 ページ) 」）

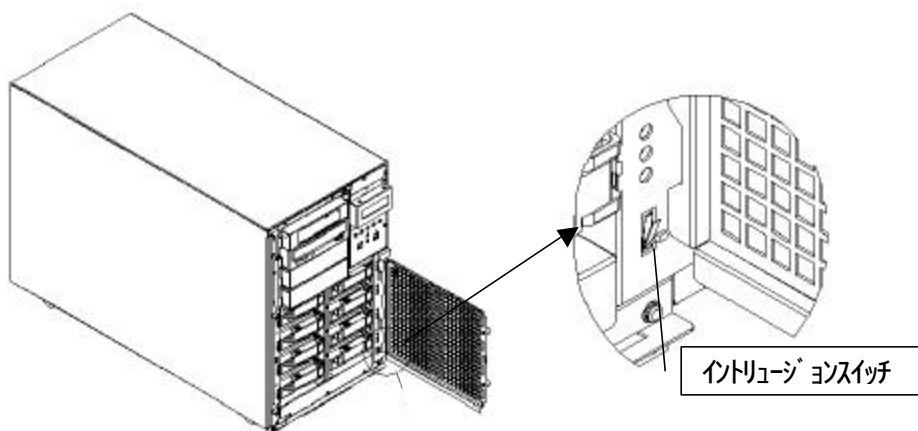
セットアップディスクの1枚目に入っている下記のCFG ファイルは本サーバでは使用しません。選択しないでください。

- !int3248.cfg
- !int3250.cfg

5. 3.5 インチディスク保護カバーの取付け方法（追記）

（関連ページ：「 取り付け手順(130 ページ) 」）

3.5 インチディスク保護カバーを取り付ける際には、イントリュージョンスイッチが保護カバーと筐体の間に入れるように取り付けてください。



6. 拡張カードの搭載スロット (誤記訂正)

(関連ページ: 「 搭載可能な拡張カード(141 ページ) 」)

FMV-187(ATM-LAN カード)を搭載する場合は、PCI スロット A-2 又は A-3 に搭載してください。

7. IntranetWare のインストール (追記)

(関連ページ: 「 インストール時の留意事項(192 ページ) 」)

OS に IntranetWare を使用する場合は、オンボード SCSI に IRQ7 を使用することはできません。他の IRQ を設定してください。

8. トラブルシューティング (追記)

(関連ページ: 「 サーバ本体(220 ページ) 」)

以下の文章を追加します。

本文
<p>・CRTディスプレイにエラーメッセージが表示された。 「8.2 エラーメッセージ」を参照してください。 なお OS がない場合は、以下のメッセージが画面に表示されます。 Intel LANDesk® Service Agent, Version 0.99b Copyright© 1997 Intel Corporation All right reserved. PXE-E61:Media test failure, check cable. PXE-MOF:Exiting LANDesk Service Agent. OS をインストールしてください。 「第6章ソフトウェアのインストールを参照してください。」</p>
追記
<p>このメッセージが表示された時には、ソフトリセット(Alt+Ctl+Del)によるリブートはできません。サーバ前面のリセットスイッチを使用してください。</p>

9. エラーメッセージ (誤記訂正)

(関連ページ: 「(226 ページ) 」)

以下のエラーメッセージの「内容と対処方法」を下記のように訂正します。

【訂正前】

コード	メッセージ	内容と対処方法
810C	Processor 1 disabled	CPU X を Disabled にして起動しました。担当保守員に連絡してください。
810D	Processor 2 disabled	
8140	Processor 3 disabled	
8141	Processor 4 disabled	

【訂正後】

コード	メッセージ	内容と対処方法
810C	Processor 1 disabled	CPU X を Disabled にして起動しました。BIOS セットアップユーティリティを起動して Server メニューの Processor Retest を実行してください。再度このメッセージが表示されるようであれば、担当保守員に連絡してください。
810D	Processor 2 disabled	
8140	Processor 3 disabled	
8141	Processor 4 disabled	

10. システム資源管理表 (誤記訂正)

(関連ページ: 「 割り込みレベル / DMAチャネル(261 ページ) 」)

本サーバでは IRQ14 の使用はできません。

GRANPOWER 5000 モデル 580 ハードウェアセットアップガイド

1. BIOS セットアップユーティリティ (誤記訂正)

(関連ページ: 「 Advanced メニュー(4 ページ) 」)

(関連ページ: 「 Server メニュー(4 ページ) 」)

Advanced Chipset Control

誤	Base RAM Step	1KB
正	Base RAM Step	Every location

誤	Extended RAM Step	1KB
正	Extended RAM Step	Every location

System Management

誤	Assert NMI on PEER	Enable
正	Assert NMI on PEER	Disable

- 以上 -